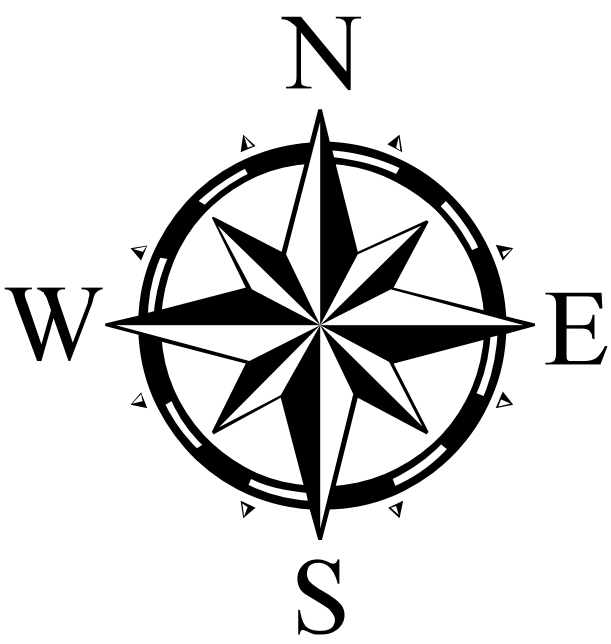
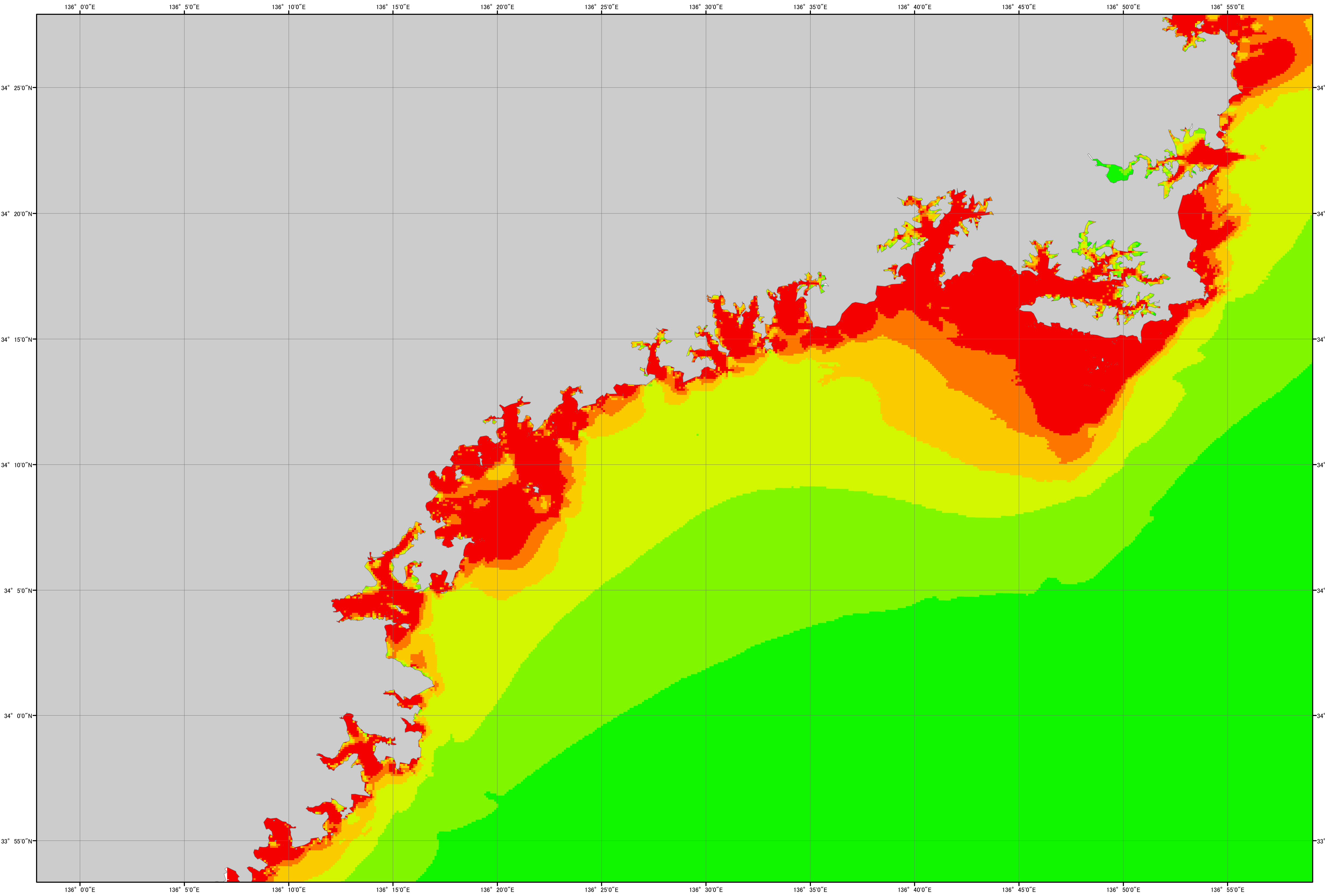


尾鷲広域 最大流速マップ

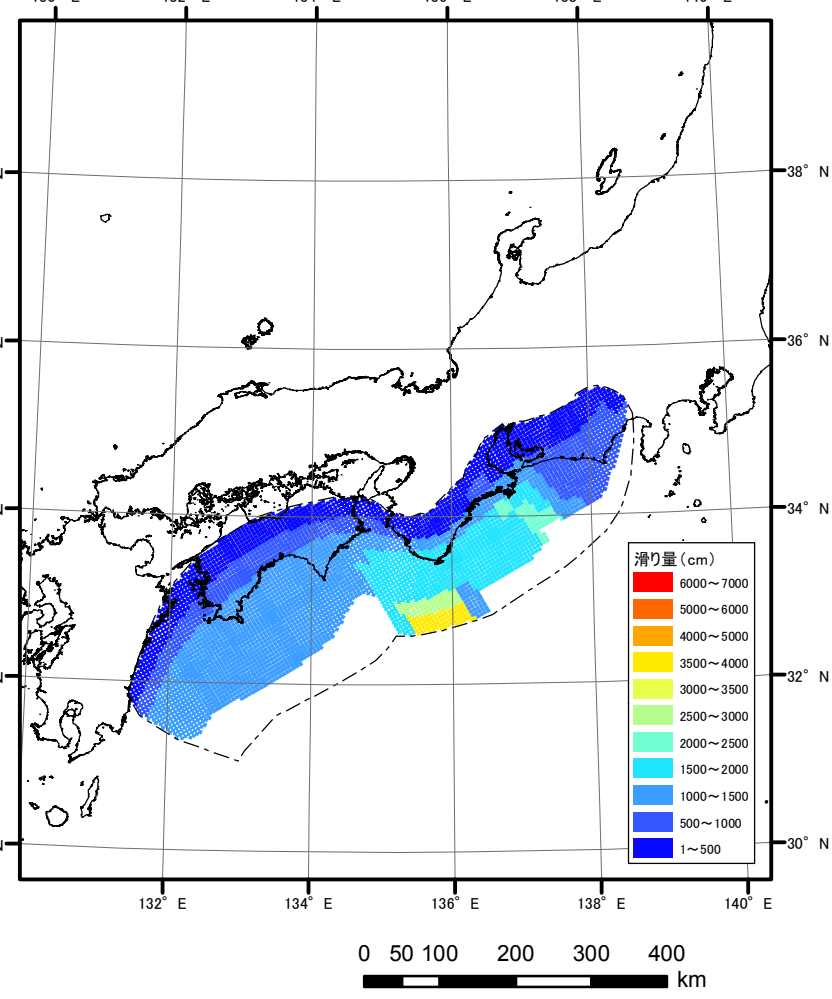
隆起量 : 平均 76cm(-1.1m ~ 2.94m)
Zo : 1.1m~1.2m
備考 : 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）

- 凡例
- 最大流速(knot)
- 5knot以上
 - 4knot以上 5knot未満
 - 3knot以上 4knot未満
 - 2knot以上 3knot未満
 - 1knot以上 2knot未満
 - 1knot未満

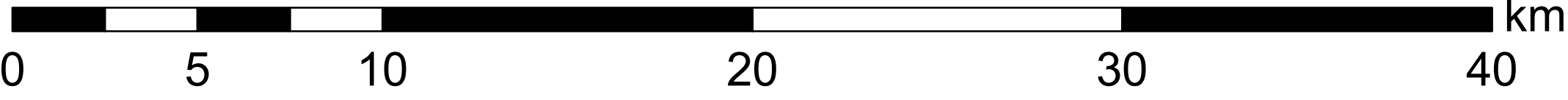
断層モデル



ケース⑦「紀伊半島沖に『大すべり域＋（超大すべり域、分岐断層）』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N・m)	5.3 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	8.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年9月29日発表）」により公表されたものである。
使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。



第四管区海上保安本部

○ 本図の作成にあたっては、“津波解析支援GISシステム（ArcGIS 10 対応）”を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・背景図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情複、 第1474号）